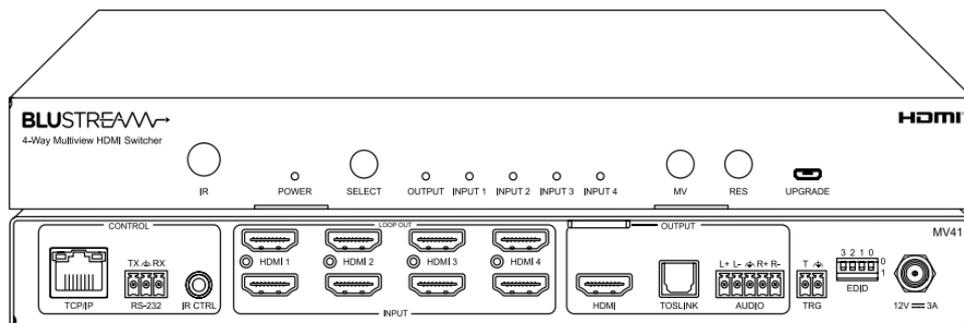


4K HDMI マルチビューワ・スイッチャー MV41 取扱説明書



改定履歴

バージョン	提供日	変更点
Ver.1.0	2024/10/11	初版

安全上のご注意

この度は、MV41 をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。

本製品をご利用になる前に必ず本書をお読みにになり、内容をご確認のうえにご利用ください。本製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる方や他の人への危険、財産への損害を未然に防止するために守って頂きたい事項を示しています。

安全にお使いいただく為に

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の区分にて説明します。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重症に結びつく可能性があるもの。
 注意	誤った取り扱いをしたときに軽傷または建築物・財産などの損害に結びつくもの。

本取扱い説明書内に使われている記号(例)の意味は下記の通りです。

	操作に関するヒントまたは追加情報です。
---	---------------------

**警告**

- 本使用上の注意・保証書で記載されている以外の使い方をしないでください。本使用上の注意・保証書の指示に従わずに起きた、いかなる事故・損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は屋内での使用に限ります。
- 本製品は安定した場所に設置してご使用ください。不安定な場所から落としたり、ぶつけたりするなどの衝撃を与えないでください。故障や破損の原因となります。
- 本製品は直射日光にあたる場所や、冷暖房機器の近く、温度の高い所(結露しているところ)、ほこりや油、薬品、水などがかかる場所には設置しないでください。
- 本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。機器の故障感電、火災などの恐れがあります。
- 機器内部に燃えやすいものや、金属などを入れないでください。また、水などをかけないでください。感電や火災の恐れがあります。上記の状態になった場合はすぐにご使用を中止してください。

**警告**

- 使用中に本体から煙が出たり、異臭・異音等が発生したりする場合は、すぐに使用を中止してACアダプター、およびご使用のすべてのケーブルを抜き、販売店または弊社までご連絡ください。
- ACアダプターを抜き挿しする場合は、必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張って抜いたりすると、ケーブルの断線、動作不具合、感電や火災の恐れがあります。
- 濡れた手で、本製品およびケーブル類を触らないでください。感電や故障の恐れがあります。
- お手入れの際は、接続ケーブルをすべて抜いてから行ってください。また、科学雑巾、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。変色や変形、故障の原因になります。水洗いは絶対に行わないでください。汚れがひどい時は、薄めた中性洗剤を柔らかい布に付けてよく絞ってからふき、その後乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のためACアダプター、ケーブル類を全て抜いて保管してください。火災や故障の恐れがあります。

 注意

- ACアダプターは専用品です。他の製品にはご使用になれません。
- ACアダプター取付け取外しの際は慎重に作業を行ってください。機器の故障の原因となります。
- ケーブル類は、電気ケーブル、変圧器、照明器具などの電波干渉の発生源となりうるものから、できるだけ離れた場所に配線するようにしてください。また、これらのケーブルは、電線用導管などに接続したり、電灯設備の上に置いたりしないでください。
- 電源を入れたまま、ケーブルの抜き差しを行わないでください。損傷の原因になり、この原因による故障はサポート対象外となります。

 注意

- 本製品を密閉された場所、屋外での使用や、長時間の連続使用は避けてください。
- 本製品の排熱口を塞がないようにしてください。排熱がうまくいかず故障する恐れがあります。また、排熱口を定期的に掃除してください。
- 本製品を譲渡された場合、または中古品に関してのサポートは致しかねます。
- 外部的な要因(破損や水没、漏電、過電流など)や、天災などによる故障破損は、サポート対象外です。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。内容については、各地方自治体へお問い合わせください。
- 本製品を分解されますと保証の対象外となりますのでご注意ください。

※製品のデザイン、仕様、外観、価格は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

目次

改定履歴	2
安全上のご注意	2
製品概要	6
製品特長	6
各部名称	7
前面	7
背面	7
ピン結線	8
表示モードについて シングル・マルチビュー	8
表示レイアウトの自動切り替え機能およびトリガーイベント切り替え機能について	9
本機の制御について	9
本体ボタン	10
EDID ディップスイッチ	11
IR リモコン	12
ウェブ GUI	12
ログイン	12
Control ページ(表示レイアウト等の設定)	13
Input ページ(入力設定)	14
Output ページ(出力設定)	16
Layout Configuration ページ(マルチビューレイアウトの設定)	17
Preset ページ(プリセットの設定)	18
User ページ(アカウントの設定)	19
Setting ページ(各種設定)	21
Update Password ページ(ログインパスワードの更新)	24
シリアル(RS-232)/Telnet 通信制御	24
シリアル(RS-232)通信初期設定	24
Telnet 通信初期設定	24
Tera Term でコマンドテスト	25
シリアル(RS-232)通信/Telnet コマンド※	25
接続図	30
FAQ よくある質問	31
主な仕様	32
サポート専用お問合せ先	33

製品概要

MV41 は、最大 4 つの HDMI 2.0 ソースを 1 つのディスプレイに表示するマルチビューワ機能と任意のソースを選択し出力するスイッチャー機能を搭載した 4x1 HDMI マルチビューワ・スイッチャーです。

マルチビューワ機能では、プリセットレイアウトの選択以外に、各入力ビデオ信号の表示位置、サイズ、アスペクト比、レイヤーを自由にカスタマイズ、保存が可能で環境に合わせた任意レイアウトを簡単に呼び出しが可能です。これらの設定は、本体ボタン、IR リモコンや RS-232 による制御に加えウェブ GUI より直感的に操作が可能。マルチビュー出力時やスイッチャー出力時に問わず映像切り替え時は、黒画面表示無しでシームレスに切り替えます。

各ソースを接続する 4 つの HDMI 入力端子には個別の EDID 保持機能を搭載し機器接続時に起こりがちなハンドシェイクエラーを防ぐ他、各 HDMI 入力ソースをループアウト出力する HDMI 出力端子を搭載し機器のカスケード接続が可能です。また、これらの HDMI ループアウト出力端子には個別に設定可能なスケーリング機能を搭載しているため、接続機器に合わせた最適なフォーマットにて出力が可能。他の Blustream 社製 HDMI/HDBaseT マトリックスや AV over IP システムへカスケード接続することで映像伝送機器の監視用途としてもご利用いただけます。

HDCP 2.2/1.4、HDR/Dolby Vision、および多種サラウンドオーディオフォーマットにも対応している他、HDMI 出力ソースに重畳されたオーディオソースをディエンベデット出力するアナログ(バランス)、および光デジタル(S/PDIF)端子を搭載します。

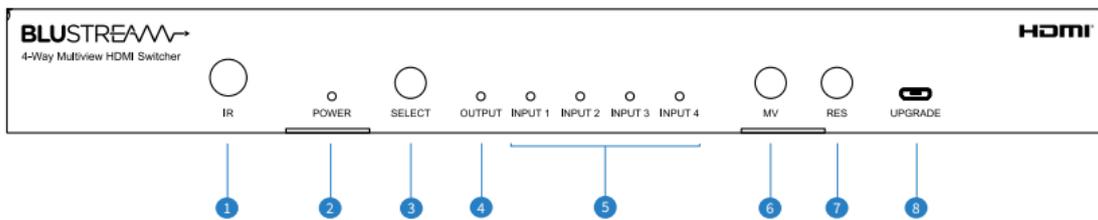
MV41 は、コンパクトな筐体設計により、スペース効率の高い設置が可能。サイネージ、放送、教育、監視、会議室など、多様な用途に対応しプロフェッショナル AV 環境における柔軟性と効率性を大幅に向上させます。

製品特長

- 最大解像度 4K まで対応(4K@60Hz 4:4:4)
- HDMI 2.0 入力 x4、HDMI ループアウト x4
- マルチビュー出力 x1
- PIP、PBP、POP、デュアル、トリプル、クワッド、カスタマイズレイアウト
- 任意レイアウト保存 x8
- HDCP、HDR 対応(HDR→SDR 変換機能搭載)
- EDID 保持機能、スケーラ機能搭載
- 多様な制御方法 | 本体ボタン、IR リモコン、ウェブ GUI、RS-232、Telnet

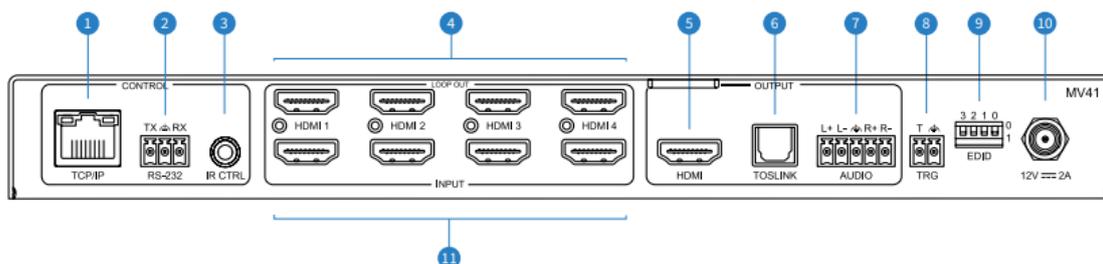
各部名称

前面



- ① IR - IR リモコン受光部。付属の IR リモコン信号を受信します。
- ② POWER - 電源ランプ。本体電源 ON 時に点灯します。
- ③ SELECT - 入力ソースの切り替えボタン(シングル表示モード設定時)。
切り替え順:1>2>3>4>1
- ④ OUTPUT - 出力ステータスランプ。表示可能なディスプレイ機器に接続されると点灯します。
- ⑤ INPUT1/2/3/4 - 入力ソースステータスランプ。アクティブ状態である入力ソースが点灯します。
- ⑥ MV - マルチビュー表示切り替えボタン。切り替え順番は本書 P.10 [本体ボタン](#)を参照してください。
- ⑦ RES - 出力解像度切り替えボタン。切り替え順番は本書 P.10 [本体ボタン](#)を参照してください。
- ⑧ UPGRADE - サービス用 microUSB 端子

背面



- ① TCP/IP - TCP/IP 通信用 LAN ポート(100Mbps)。LAN ケーブルでネットワークスイッチまたは PC と接続します。
- ② RS-232 - シリアル(RS-232)通信用 3 ピンターミナルブロック端子。付属の 3 ピンターミナルブロックを使用して PC やサードパーティーコントロールシステムなどのコントロールデバイスと接続します。
- ③ IR CTRL - IR 信号入力用 3.5mm ステレオジャック。付属の IR 受信ケーブルを接続します。
- ④ HDMI 1/2/3/4 LOOP OUT - HDMI ループアウト端子。HDMI ディスプレイ機器と接続します。
- ⑤ HDMI - HDMI 出力端子。ディスプレイ機器と接続します。

- ⑥ **TOSLINK** - 光デジタル(TOSLINK)出力端子。光デジタル音声対応機器と接続します。
- ⑦ **AUDIO** - アナログ音声出力用 5 ピンターミナルブロック端子。付属の 5 ピンターミナルブロックを使用して音声対応機器と接続します。
- ⑧ **TRG** - トリガー信号入力用 2 ピンターミナルブロック端子。付属の 2 ピンターミナルブロックを使用してトリガー信号(Low Level (0V)、High Level (5-12V))出力機器と接続します。設定方法は本書 P.21 [Setting ページ\(各種設定\)](#)を参照してください。
- ⑨ **EDID** - EDID 設定用ディップスイッチ。入力ソース側への EDID 設定を行います(すべての入力ソースに同一設定が適用される)。詳細は本書 P.11 [EDID ディップスイッチ](#)を参照してください。
- ⑩ 12V \equiv 3A - 電源入力端子。付属のACアダプター(DC12V/3A)を接続します。
- ⑪ **HDMI 1/2/3/4 INPUT** - HDMI 入力端子。HDMI ソース機器と接続します。

ピン結線

付属の 2/3/5 ピンターミナルブロック(ピッチ 3.5mm)を加工して、各制御端子へ接続してください。

端子	RS-232	AUDIO	TRG
結線	TX \leftrightarrow RX  RS-232	L+ L- \leftrightarrow R+ R-  AUDIO	T \leftrightarrow  TRG

表示モードについて | シングル・マルチビュー

本機はシングルとマルチビュー2つの表示モードを搭載しています。

シングル表示モード

1つの入力ソースのみを表示するモードです。

※ 映像と音声は別々に切り替えることができます。オーディオ フォロー ビデオ(映像に合わせて音声を自動で切り替える機能)には対応していませんので、ご注意ください。

マルチビュー表示モード

複数の入力ソースを同時表示するモードです。マルチビューでは、豊富な表示レイアウトを設定することができます。16種類の固定レイアウトと、最大8つまで登録できるカスタムレイアウトを合わせて、合計24種類のレイアウトから選択可能です。

固定レイアウト: ウィンドウ1からウィンドウ4まで、様々なウィンドウサイズと位置であらかじめ設定されたレイアウトです。(マルチビュー表示レイアウト Index1~16まで)

カスタムレイアウト: ウィンドウサイズ、位置、表示優先度を自由に設定して、オリジナルのレイアウトを作成することができます。(マルチビュー表示レイアウト Index17~24まで)

固定レイアウトの確認及びカスタムレイアウトの作成は本書 P.17 [Layout Configuration ページ\(マルチビューレイアウトの設定\)](#)を参照してください。

表示レイアウトの自動切り替え機能およびトリガーイベント切り替え機能について

表示レイアウトの自動切り替え(Auto Switching)機能

自動切り替えトリガー(TMD5 または HDMI 5V)信号を受信した場合、検知した入力信号の数によって、事前に設定したデュアル、トリプル、クアッドウィンドウレイアウト表示に自動的に切り替えます。また、信号を失った際、事前にフォールバック入力に自動的に切り替えます。表示レイアウトの自動切り替え(Auto Switching)機能に関する設定は本書 P.21 [Setting ページ\(各種設定\)](#)を参照してください。

表示レイアウトのトリガーイベント切り替え(Trigger Event)機能

本体背面のトリガー入力(TRG)端子経由、下記の信号を受信した場合、事前に設定したプリセットまたは特定入力ソースのポップアップ(画面の中央にオーバーレイ)表示に自動的に切り替えます。トリガー信号の電圧が切り替わるまたは事前に設定した時間を過ぎた際、トリガーイベント切り替え前の表示レイアウトに自動的に戻ります。表示レイアウトのトリガーイベント切り替え(Trigger Event)機能に関する設定は本書 P.21 [Setting ページ\(各種設定\)](#)を参照してください。

本機の制御について

本機の制御方法は本体ボタン、ディップスイッチ、IR リモコン、ウェブGUI(TCP/IP 経由)、シリアル(RS-232)通信、Telnet(TCP/IP 経由) 計 6 種類があります。各制御方法の設定できる項目は下記の通りです。

設定項目	本体ボタン	ディップスイッチ	IR リモコン	ウェブ GUI (TCP/IP 経由)	シリアル(RS-232)通信 /Telnet(TCP/IP 経由)
電源オン/オフ	-	-	○	○	○
EDID 設定	-	△(一斉設定)	-	○(個別設定)	○(個別設定)
HDMI ループアウト解像度の設定	-	-	-	○	○
マルチビュー出力解像度の設定	○(順送り)	-	○(順送り)	○	○
表示モード切り替え シングル⇄マルチビュー	○(順送り)	-	○	○	○
シングル表示モード設定時 入力ソースの切り替え	○(順送り)	-	○(順送り)	○	○
マルチビュー表示モード設定 時表示レイアウトの切り替え	○(順送り)	-	○(順送り)	○	○
マルチビューカスタムレイアウトの設定	-	-	-	○	-
各ウィンドウの入力ソース選択	-	-	○	○	○
オートスイッチングの設定	-	-	-	○	○
プリセットの設定	-	-	-	○	○

プリセットの呼び出し	○(順送り)	-	○(順送り)	○	○
出力音声の切り替え	-	-	○	○	○
音声ミュート	-	-	○	○	○
映像ミュート(黒画面)	-	-	○	○	○
設定リセット	-	-	-	○	○

本体ボタンの操作方法は下記 [本体ボタン](#) を参照してください。EDID ディップスイッチの操作方法は本書 P.11 [EDID ディップスイッチ](#) を参照してください。IR リモコンの操作方法は本書 P.12 [IR リモコン](#) を参照してください。ウェブ GUI の操作方法は本書 P.12 [ウェブ GUI](#) を参照してください。シリアル(RS-232)および Telnet 通信制御は本書 P.24 [シリアル\(RS-232\)/Telnet 通信制御](#) を参照してください。

本体ボタン

本機の本体ボタンはシングル表示モード時の入力ソース切り替え(SELECT ボタン)、マルチビュー表示レイアウトの切り替え(MV ボタン)、出力解像度の切り替え(RES ボタン)など操作を行うことができます。*1

各ボタンの説明

SELECT ボタン - ボタンを押すたびに、シングル表示モード時の入力ソースを切り替えることができます。切り替え順:1>2>3>4>1*2

MV ボタン - ボタンを押すたびに、マルチビュー表示レイアウトを切り替えます。切り替え順:固定レイアウト(Index1~16)>カスタムレイアウト(Index17~24)>プリセット(Preset1~8)>固定レイアウト(Index1~16)*3

RES ボタン - ボタンを押すたびに、以下のリストの順に解像度が切り替わります。1024x768p から切り替えると、リスト最初の Auto に戻ります。

- Auto
- 3840x2160p 60Hz
- 3840x2160p 50Hz
- 4096x2160p 60Hz
- 4096x2160p 50Hz
- 3840x2160p 30Hz
- 1920x1080p 60Hz
- 1920x1080p 50Hz
- 1920x1080i 60Hz
- 1920x1080i 50Hz
- 1280x720p 60Hz
- 1280x720p 50Hz
- 1380x768p 60Hz
- 1280x800p 60Hz
- 1920x1200p 60Hz
- 1024x768p 60Hz

*1 ウェブ GUI またはシリアル(RS-232)通信/Telnet 通信制御で本体ボタン操作を無効に設定できます。詳細は本書 P.21 Setting ページ(各種設定) P.24 シリアル(RS-232)通信/Telnet コマンドを参照してください。

*2 マルチビュー表示モード設定時、SELECT ボタンを押すと、シングル表示モードに切り替わります。

*3 カスタムレイアウトとプリセットは、あらかじめ設定されている場合のみ切り替えることができます。設定されていないカスタムレイアウトやプリセットはスキップされます。Index1 はシングル表示となります。

EDID ディップスイッチ

EDID(Extended Display Identification Data)は、ディスプレイ機器とソース機器間で情報を交換するデータ形式です。このデータ形式は、ソース機器に接続されているディスプレイ機器がどのようなオーディオフォーマットやビデオ解像度などに対応しているかの情報を提供します。この情報を元に、ソース機器は接続されたディスプレイ機器に最適なオーディオとビデオ解像度を選択し信号を出力します。EDID は、ディスプレイ機器とソース機器が簡潔にプラグ・アンド・プレイ接続を行うためのデータのやり取りですが、複数のディスプレイやソースを導入すると、各種ディスプレイやソース機器の仕様の違いなどからEDIDハンドシェイクに問題が発生することがあります。

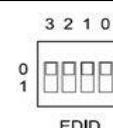
EDID 制御にてこれらの情報をあらかじめ設定しておくことで EDID ハンドシェイクに必要な処理を省きます。

EDID 設定方法は本体ディップスイッチ、シリアル(RS-232)コマンド送信、Telnet コマンド送信、ウェブ GUI 設定 計 4 つの方法があります。

ディップスイッチによる EDID 設定は、以下の表を参照し、本体背面の EDID を設定してください。

EDID DIP スイッチ位置

0 = △ 1 = ▽



3(左)	2	1	0(右)	EDID プリセット
0	0	0	0	1080p 60Hz 2.0ch
0	0	0	1	1080p 60Hz 5.1ch
0	0	1	0	1080p 60Hz 7.1ch
0	0	1	1	4K 60Hz 4:2:0 2.0ch
0	1	0	0	4K 60Hz 4:2:0 5.1ch
0	1	0	1	4K 60Hz 4:2:0 7.1ch
0	1	1	0	4K 60Hz 4:4:4 8bit 2.0ch
0	1	1	1	4K 60Hz 4:4:4 8bit 5.1ch
1	0	0	0	4K 60Hz 4:4:4 8bit 7.1ch
1	0	0	1	4K 60Hz 4:4:4 10bit 2.0ch
1	0	1	0	4K 60Hz 4:4:4 10bit 5.1ch
1	0	1	1	4K 60Hz 4:4:4 10bit 7.1ch
1	1	0	0	DVI 1920x1080@60Hz
1	1	0	1	DVI 1920x1200@60Hz
1	1	1	0	EDID パススルー
1	1	1	1	ソフトウェア EDID

シリアル(RS-232)制御、Telnet 制御、ウェブ GUI 設定で EDID 設定する前に、本体ディップスイッチを 1111 (ソフトウェア EDID)に設定してください。ウェブ GUI での EDID 設定方法は本書 P.14 [Input ページ\(入力設定\)](#)を参照してください。シリアル(RS-232)制御、Telnet 制御での EDID 設定方法は本書 P.24 [シリアル\(RS-232\)通信/Telnet コマンド](#)を参照してください。

IR リモコン

各ボタンの説明

POWER - 本機の電源をオン/オフします。

MUTE - 音声出力ミュートをオン/オフします。

OUTPUT - SINGLE - ボタンを押すたびに、シングル表示モード時の入力ソースを切り替えることができます。切り替え順番:1>2>3>4>1

MV. - ボタンを押すたびに、マルチビュー表示レイアウトを切り替えます。切り替え順:固定レイアウト(Index1~16)>カスタムレイアウト(Index17~24)>プリセット(Preset1~8)>固定レイアウト(Index1~16)

RES. - ボタンを押すたびに、解像度が切り替わります。解像度一覧・表示順は本書 P.10 [本体ボタン](#)を参照してください。

V.MUTE - HDMI の出力をオン/オフします。

WINDOWS - マルチビューモード表示時のウィンドウを選択します。

INPUT - 入力ソースを選択します。^{※4}

MULTIVIEW LAYOUT - マルチビュー表示レイアウトを切り替えます。MV1~10:固定レイアウト(Index1~10); ◀:前のレイアウト; ▶:次のレイアウト。

AUDIO - 出力音声を切り替えます。

HDMI1/2/3/4:HDMI 入力 1/2/3/4

WIN1/2/3/4:ウィンドウ 1/2/3/4

ウェブ GUI

本機のウェブ GUI で入力 EDID、出力解像度、マルチビューカスタムレイアウトの設定、プリセットの保存・呼び出し、オート切り替えを含む各種設定を行うことができます。

ログイン

前準備

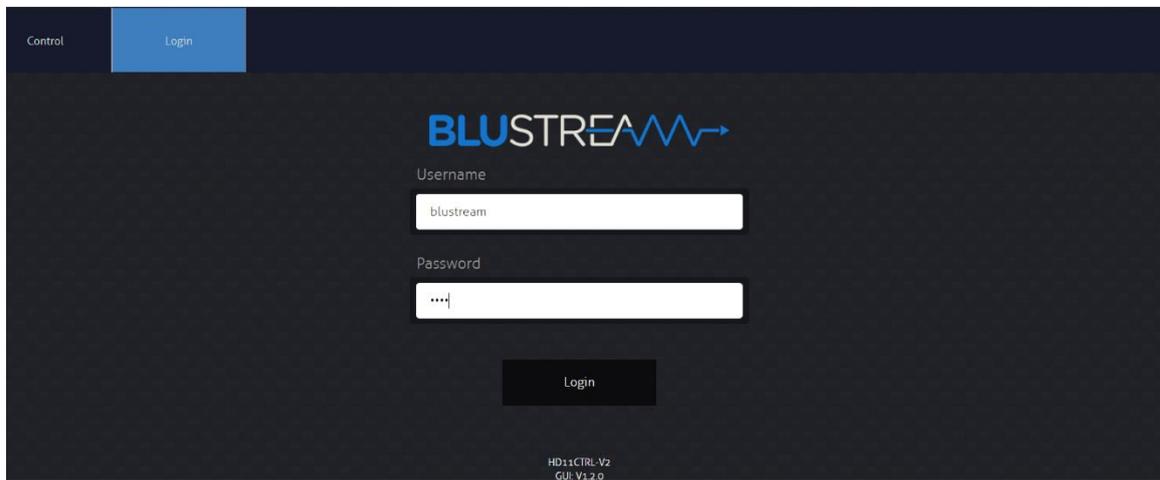
本機の RJ-45 ポートと PC を LAN ケーブルでネットワークスイッチ経由または直接接続します。(直接接続する場合はストレートケーブルを使用してください。)

- DHCP 機能対応ネットワークスイッチ経由接続する際、PC の DHCP 機能をオンに設定します。
- DHCP 機能非対応のネットワークスイッチ経由接続する際、PC の DHCP 機能をオフに設定し、本機の初期 IP アドレスと同じセグメントに設定してください。
- 本機を PC と直接接続する際、PC の DHCP 機能をオフに設定し、本機の初期 IP アドレスセグメントと同じセグメントに設定してください。

ウェブ GUI へのログイン

PC のブラウザでウェブ GUI へログインしてください。

※4 マルチビュー表示モード設定時、各ウィンドウに表示する入力ソースを切り替える際、先にウィンドウを選択し、あとに入力ソースを選択してください。



本機の初期 IP アドレス、及びログイン情報は下記の通りです。※5

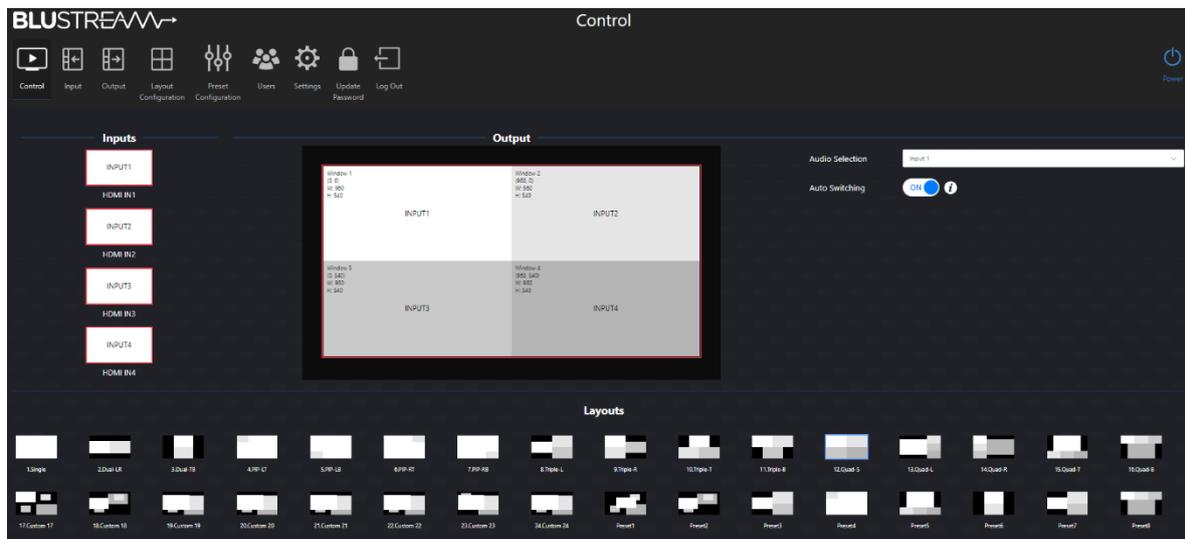
IP アドレス: 192.168.0.200/24(DHCP 機能非対応ネットワーク経由、または直接接続時)

ユーザーネーム(Username): blustream

パスワード(Password): @Bls1234

Control ページ(表示レイアウト等の設定)

Control ページで表示レイアウトの設定、各ウィンドウの入力ソース切り替え、出力音声の切り替え、自動切り替え機能のオン/オフ設定、本機電源のオン/オフを行うことができます。



表示レイアウトの切り替え方法

画面の下側にある Layouts エリアから、レイアウトを 1 つクリックして切り替えます。切り替え可能なレイアウトは、固定レイアウトに加え、本機に登録済みカスタムレイアウトおよびプリセットレイアウトが表示されます。

各ウィンドウの入力ソース切り替え方法

画面左側にある Inputs エリアから入力ソースを画面中央に表示される Outputs エリアにある個々のマルチビューウィンドウにドラッグ アンド ドロップすることによって実行されます。

※5 本機は自動ログアウト機能に対応していません。

出力音声の切り替え方法

画面右側にある Audio Selection 項目で、ドロップダウンボックスから出力音声を切り替えることができます。選択可能な音声ソースは下記の通りです。

- Mute
- Input 1
- Input 2
- Input 3
- Input 4
- Window 1
- Window 2
- Window 3
- Window 4

自動切り替え(Auto Switching)機能のオン/オフ

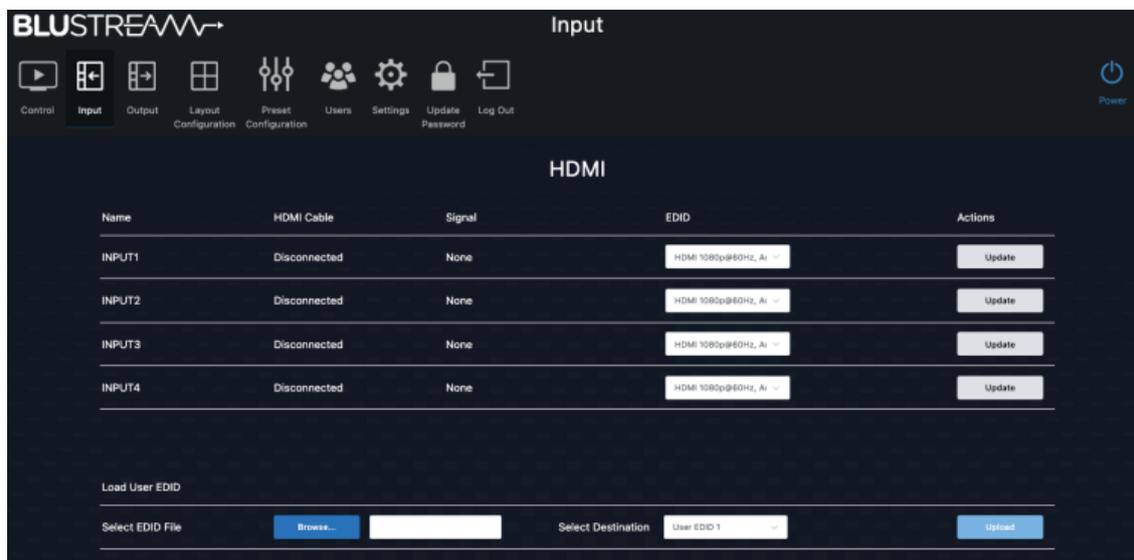
画面右側にある Auto Switching 項目で、自動切り替え(Auto Switching)機能をオン/オフ設定できます。

自動切り替えは入力信号を自動検出し、HDMI ソースを出力に表示する機能です。

自動切り替えトリガー、フォールバック入力、レイアウトモードは、Setting ページ内 Advanced Auto Switching エリアで設定できます。詳細は本書 P.21 [Setting ページ\(各種設定\)](#)を参照してください。

Input ページ(入力設定)

Input ページで各入力の名前変更、HDMI ケーブル接続および信号のステータス確認、EDID プリセットの設定を行うことができます。



各項目の説明

Name - 各入力の名前

HDMI Cable - 各入力の HDMI ケーブル接続ステータス情報

Signal - 各入力の信号情報

EDID - 各入力の EDID プリセット設定。設定可能な EDID プリセットは下記の通りです。本体のディップスイッチを 1111 に設定する必要があります。(ディップスイッチの設定方法は本書 P.11 [EDID ディップスイッチ](#)を参照してください。)

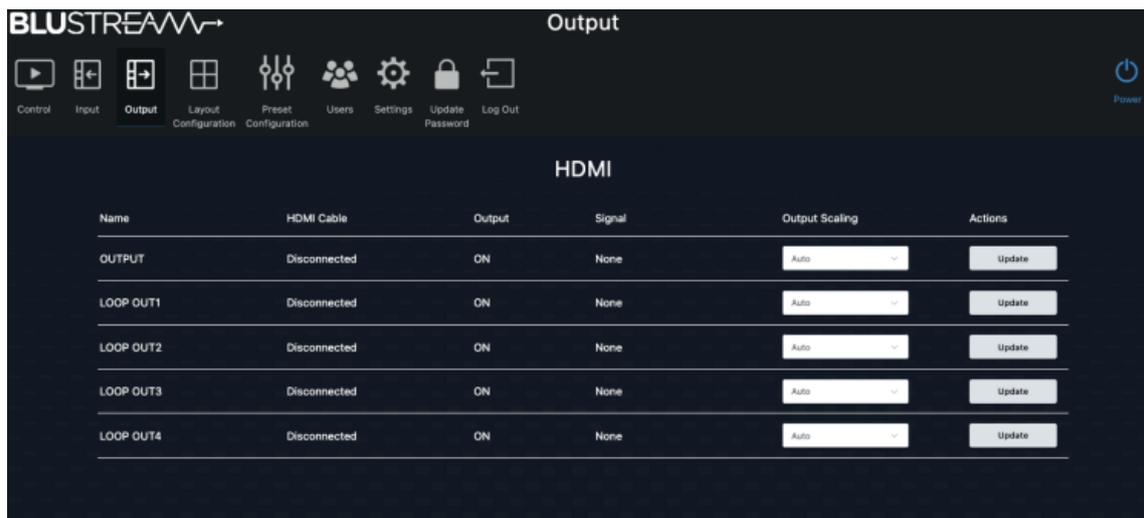
HDMI 1080p@60Hz, Audio 2CH PCM
 HDMI 1080p@60Hz, Audio 5.1CH DTS/DOLBY
 HDMI 1080p@60Hz, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD
 HDMI 1080i@60Hz, Audio 2CH PCM
 HDMI 1080i@60Hz, Audio 5.1CH DTS/DOLBY
 HDMI 1080i@60Hz, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD
 HDMI 1080p@60Hz/3D, Audio 2CH PCM
 HDMI 1080p@60Hz/3D, Audio 5.1CH DTS/DOLBY
 HDMI 1080p@60Hz/3D, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD
 HDMI 4K@30Hz 4:4:4/4K@60Hz 4:2:0, Audio 2CH PCM
 HDMI 4K@30Hz 4:4:4/4K@60Hz 4:2:0, Audio 5.1CH DTS/DOLBY
 HDMI 4K@30Hz 4:4:4/4K@60Hz 4:2:0, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD
 HDMI 4K@60Hz 4:2:0, Audio 2CH PCM
 HDMI 4K@60Hz 4:2:0, Audio 5.1CH DTS/DOLBY
 HDMI 4K@60Hz 4:2:0, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD
 HDMI 4K@60Hz 4:4:4, 8-bit, Audio 2CH PCM
 HDMI 4K@60Hz 4:4:4, 8-bit, Audio 5.1CH DTS/DOLBY
 HDMI 4K@60Hz 4:4:4, 8-bit, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD
 HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 10-bit, Audio 2CH PCM
 HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 10-bit, Audio 5.1CH DTS/DOLBY
 HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 10-bit, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD
 HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 12-bit, Audio 2CH PCM
 HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 12-bit, Audio 5.1CH DTS/DOLBY
 HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 12-bit, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD
 HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 10-bit (Inc DV), Audio 2CH PCM
 HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 10-bit (Inc DV), Audio 5.1CH DTS/DOLBY
 HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 10-bit (Inc DV), Audio 7.1CH DTS/DOLBY
 HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 12-bit (Inc DV), Audio 2CH PCM
 HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 12-bit (Inc DV), Audio 5.1CH DTS/DOLBY
 HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 12-bit (Inc DV), Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD
 DVI 1280x1024@60Hz, Audio None
 DVI 1920x1080@60Hz, Audio None
 DVI 1920x1200@60Hz, Audio None
 HDMI 1920x1200@60Hz, Audio 2CH PCM/6CH PCM
 USER EDID 1/2
 COPY OUTPUT EDID
 COPY LOOPOUT 1/2/3/4 EDID

Actions - 入力の名前変更。変更方法:Update をクリックし、12 文字までの半角英数記号を入力した後、Update をクリックします。

Load User EDID - カスタム EDID の保存。保存方法:Browse...をクリックし.bin ファイルを選択、Select Destination のドロップダウンから User EDID1/2 から 1 つを選択、Update をクリックします。

Output ページ(出力設定)

Output ページで各出力の名前変更、HDMI ケーブル接続および出力オン/オフ確認、スケーリング解像度設定、シームレススイッチングのオン/オフ設定等を行うことができます。



各項目の説明

Name - 各出力の名前

HDMI Cable - 各出力の HDMI ケーブル接続ステータス情報。

Output - 各出力のオン/オフステータス情報

Signal - 各出力の信号情報

Output Scaling - 各出力のスケーリング解像度設定。設定可能な解像度プリセットは下記の通りです。

OUTPUT	LOOP OUT1/2/3/4
• Auto	Bypass
• 3840x2160p 60Hz	Force 1080p
• 3840x2160p 50Hz	Auto
• 4096x2160p 60Hz	
• 4096x2160p 50Hz	
• 3840x2160p 30Hz	
• 1920x1080p 60Hz	
• 1920x1080p 50Hz	
• 1920x1080i 60Hz	
• 1920x1080i 50Hz	
• 1280x720p 60Hz	
• 1280x720p 50Hz	
• 1380x768p 60Hz	
• 1280x800p 60Hz	
• 1920x1200p 60Hz	
• 1024x768p 60Hz	

Actions - 出力の名前変更、出力のオン/オフ、シームレススイッチングのオン/オフおよび輝度などの設定(OUTPUT のみ)

OUTPUT - マルチビュー出力の設定項目

Name - 出力の名前変更。変更方法:Update をクリックし、12 文字までの半角英数記号を入力した後、Update をクリックします。

Output - 出力のオン/オフ設定

Seamless Switching - シームレススイッチング機能のオン/オフ設定

Advanced Picture Settings - 画像設定

Brightness(0-255) - 輝度設定(初期設定:140)

Saturation(0-255) - 彩度設定(初期設定:128)

Hue(0-255) - 色相設定(初期設定:128)

Contrast(0-255) - コントラスト設定(初期設定:120)

HDRCB(0-8191) - HDR Color Boost 設定(初期設定:2750)

HDRCR(0-8191) - HDR Contrast Ratio 設定(初期設定:3000)

LOOP OUT1/2/3/4 - ループアウトの設定項目

Name - 出力の名前変更。変更方法:Update をクリックし、12 文字までの半角英数記号を入力した後、Update をクリックします。

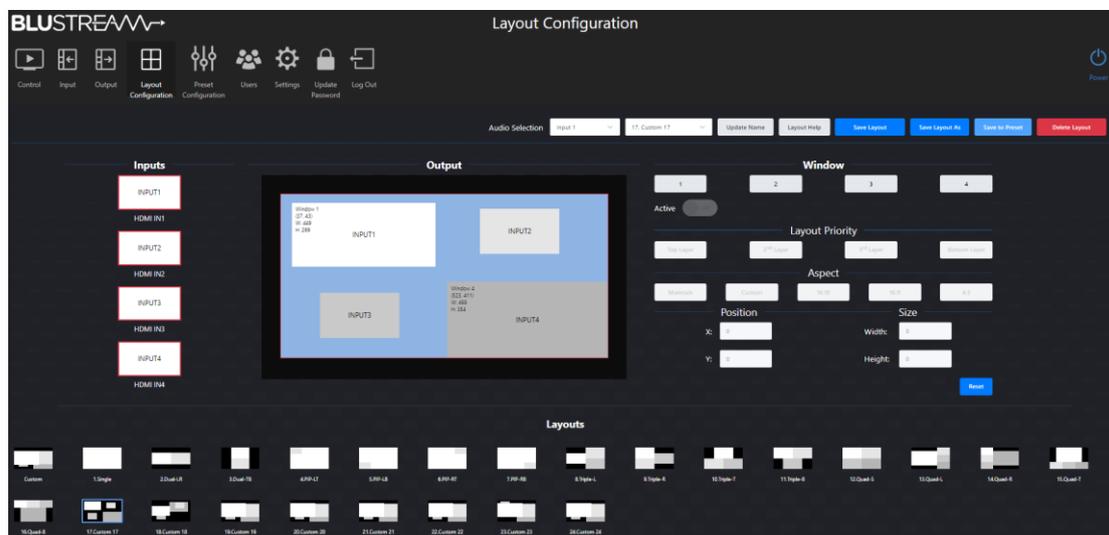
Output - 出力のオン/オフ設定

ご注意

シームレススイッチングがオフになっている場合、HDR や Dolby Vision などの動的メタデータを使用してシングルモードとマルチビューモードを切り替えると、SDR と動的スケーラを切り替えるため、画像が途切れます。

Layout Configuration ページ(マルチビューレイアウトの設定)

Layout Configuration ページでマルチビューレイアウトを事前にカスタマイズして保存しておくことができます。マルチビューウィンドウの数、サイズ、位置、レイヤーを自由に設定できます。作成したカスタムレイアウトは、カスタムレイアウトまたはプリセットとして保存できます。



本機には、16 種類の固定レイアウトと、最大 8 つまで登録できるカスタムレイアウトを合わせて、合計 24 種類のレイアウトから選択可能です。

固定レイアウト: ウィンドウ1からウィンドウ4まで、様々なウィンドウサイズと位置であらかじめ設定されたレイアウトです。(マルチビュー表示レイアウト Index1~16まで)

カスタムレイアウト: ウィンドウサイズ、位置、表示優先度を自由に設定して、オリジナルのレイアウトを作成することができます。(マルチビュー表示レイアウト Index17~24 まで)

カスタムレイアウトの作成方法

1. 画面下側にある Layouts から Custom レイアウトをクリックします。
2. 画面中央 Output 画面に Custom レイアウトが表示されます。

3. Output 画面の各ウィンドウをドラッグ&ドロップして、サイズと位置に配置します。画面右側にあるPositionとSize項目で各ウィンドウの位置、サイズをピクセル単位で調整することができます。
4. 画面右側にある Active ボタンをクリックしてオンまたはオフにすることで、特定のウィンドウを表示または非表示にすることができます。
5. 画面右側にある Layout Priority エリアで各ウィンドウの表示優先度を、Top Layer(最上位レイヤー)、2nd Layer(第2レイヤー)、3rd Layer(第3レイヤー)、または Bottom Layer(最下位レイヤー)に設定できます。
6. 画面右側にあるAspectエリアで各ウィンドウの表示アスペクト比をMaintain(維持)、Custom(カスタム)、16:10、16:9、または 4:3 に設定できます。
※ Maintain(維持)は、ウィンドウのアスペクト比が現在選択されている入力ソースと同じになることを意味します。
7. 画面右側にあるSave Layout をクリックすると、現在のレイアウトが保存され、画面下側に Layouts に表示されます。
8. 画面右側にあるSave Layout Asをクリックすると、現在のレイアウトが自動切り替え(Auto Switching)レイアウトとして保存されます。
9. 画面右側にあるSave to Preset をクリックすると、現在のレイアウトが既存のプリセットに保存することができます。^{※6}

カスタムレイアウトのリセット方法

1. 画面下側にある Layouts から削除したいカスタムレイアウトをクリックします。
2. 画面右側にあるResetをクリックします。

カスタムレイアウトの削除方法^{※7}

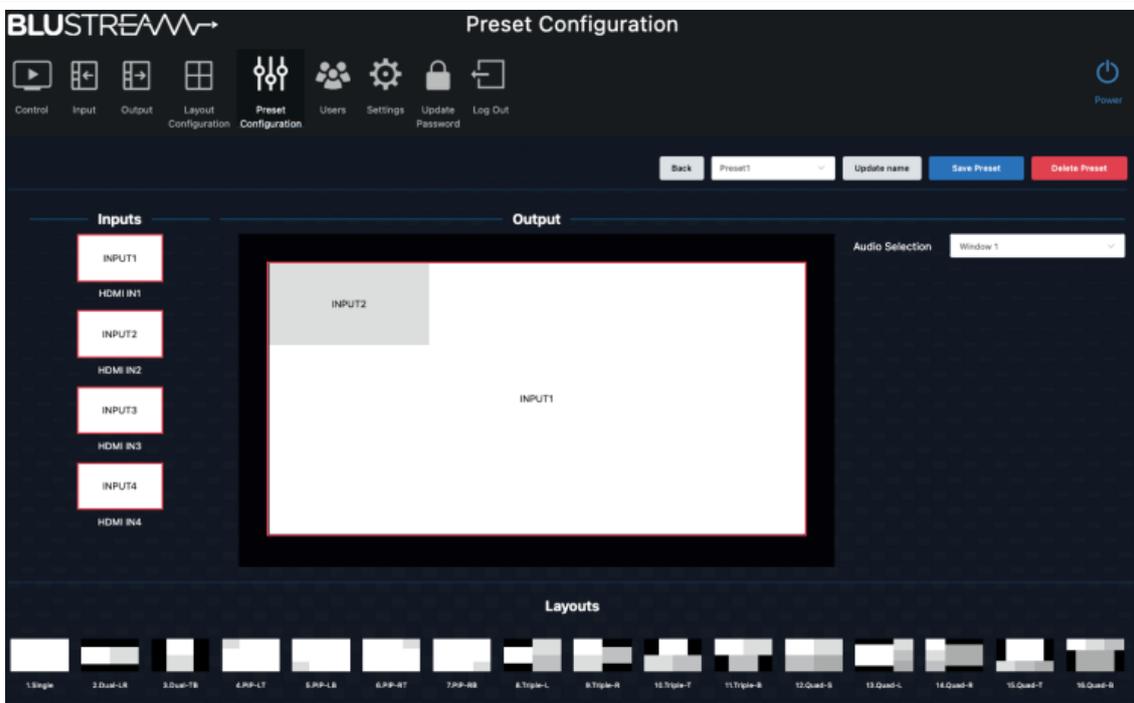
1. 画面下側にある Layouts から削除したいカスタムレイアウトをクリックします。
2. 画面右側にあるDelete Layoutをクリックし、Yesをクリックします。

Preset ページ(プリセットの設定)

Presetページでマルチビューレイアウトのプリセットの登録、変更、削除することができます。本機には、最大 8 つのプリセットを登録することができます。プリセット ID は 1 から 8 まであり、プリセット名はユーザーが自由に設定できます。各プリセットでは、16 種類の固定レイアウトと最大 8 つのカスタムレイアウトから 1 つを選択できます。

^{※6} Preset ページで事前にプリセットを作成する必要があります。

^{※7} 一度削除したカスタムレイアウトは復元できないのでご注意ください。固定レイアウトは削除できません。



新しいプリセットの登録方法

1. 画面右上の New Preset をクリックします。
2. プリセット名(16 桁まで半角英数記号)を入力し、Create をクリックします。
3. 画面下側にある Layouts から登録したレイアウトをクリックします。
4. 画面中央にある Output 画面の各ウィンドウをドラッグ&ドロップして、サイズと位置に配置します。
5. 画面右側にある Audio Selection項目で音声ソースを選択します。
6. Update name をクリックすると、現在のプリセット名を変更できます。
7. Save Preset をクリックすると、現在のプリセットが保存されます。

プリセットの変更方法

1. 変更したいプリセットの Update(画面右側)をクリックします。
2. Update Setting をクリックします。
3. レイアウト、プリセット名、音声ソースの変更が完了した後、Save Preset をクリックします。

プリセットの削除方法

1. 変更したいプリセットの Update(画面右側)をクリックします。
2. Remove>Yesの順にクリックします。

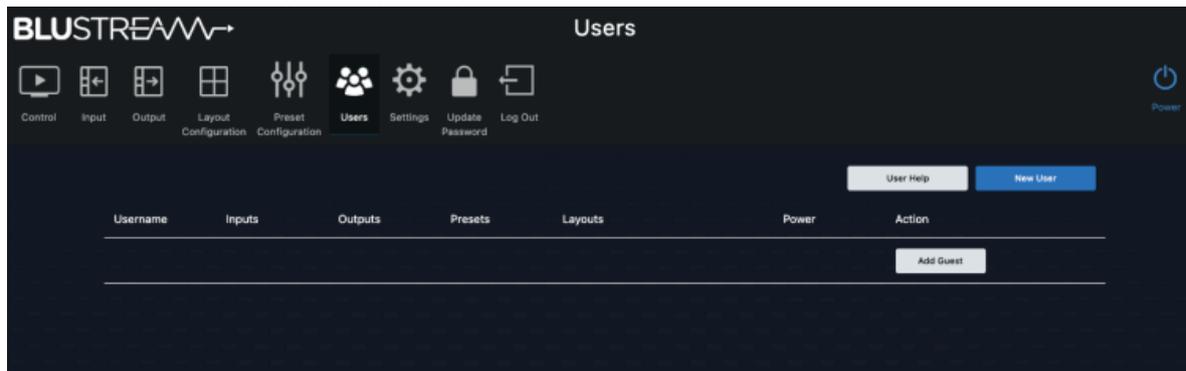
User ページ(アカウントの設定)

本機のウェブ GUI は下記 3 種類のアカウントがあります。

Guest(ゲスト)アカウント - このアカウントでは、ユーザーのログインは必要ありません。ゲストアカウントは、入力ソースとマルチビュー表示レイアウトの変更のみが可能です。ゲストアクセスは管理者が変更でき、必要に応じて入力やレイアウトを制限できます。

User(ユーザー)アカウント - ユーザーアカウントは、それぞれ個別のログイン招待により使用できます。ユーザーアカウントには、アクセス権限を割り当てることができます。このアカウントでは、ユーザーはログインする必要があります。

Admin(管理者)アカウント - このアカウントでは、本機すべての機能にアクセスできるほか、他のアカウントのアクセス権限を割り当てることもできます。



ゲスト/ユーザーの登録方法

1. 画面右側にある Add Guest または New User をクリックします。
2. ユーザー名、パスワード、パスワード確認を入力します。(ユーザー登録時のみ)
3. 各種権限を設定した後、Create をクリックします。

Username - ユーザー名入力欄(12文字までの半角英数記号)

Password - パスワード入力欄(半角英字と半角数字の組み合わせを含む8文字以上16文字以下)

Confirm Password - 確認用パスワード入力欄

Power - 電源オン/オフ権限

Audio Selection - 出力音声ソース選択権限

Inputs - 入力ソース選択権限

Outputs - 出力選択権限

Presets - プリセット選択権限

Layouts - レイアウト選択権限

ユーザーのログインパスワード/権限の変更方法

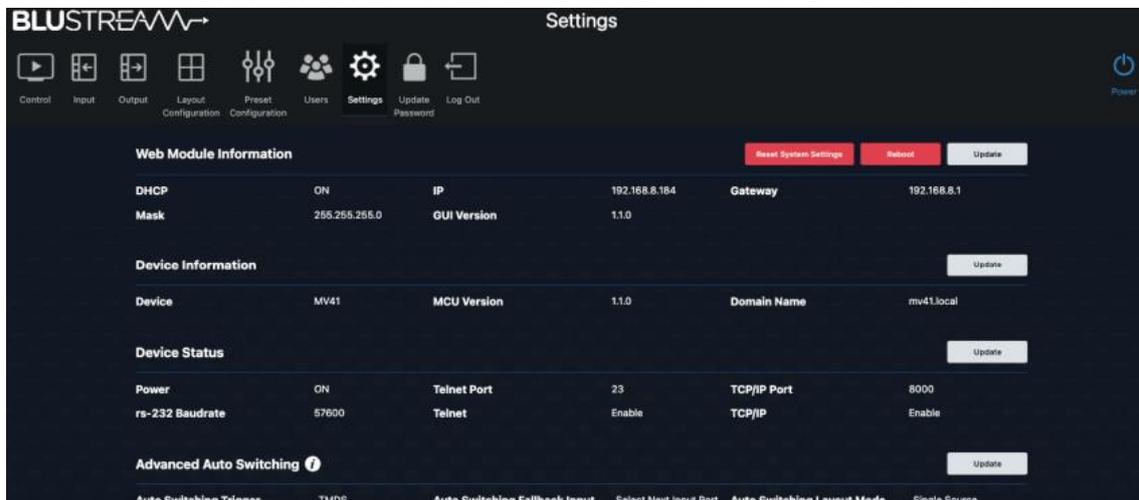
1. 変更したいユーザーの Update (画面右側) をクリックします。
2. Update Password (パスワード変更) / Update Ports (権限変更) をクリックします。
3. 設定した後、Update をクリックします。

ユーザーの削除方法※8

1. 変更したいユーザーの Delete(画面右側)をクリックします。
2. Yesをクリックします。

Setting ページ(各種設定)

Setting ページで本機ネットワーク、デバイス情報、シリアル(RS-232)通信、自動切り替え機能、本体ボタンと IR リモコン操作可否情報の確認・設定、設定のリセット等の操作を行うことができます。



セクション説明

Web Module Information - 本機のネットワーク設定の確認・変更、ウェブ GUI のバージョンの確認、再起動、設定のリセットを行うことができます。

DHCP - DHCP 機能の ON/OFF

IP - 本機の IP アドレス

Gateway - ゲートウェイアドレス

Mask - サブネットマスク

GUI Version - 本機ウェブ GUI のバージョン情報

Reset System Settings - 本機設定のリセット※9

Reset System - ネットワーク以外の設定をリセット

Reset System and Network - ネットワーク設定を含むすべての設定をリセット

Reboot - 再起動

Update - ネットワーク設定の変更

DHCP - DHCP 機能の ON/OFF 設定(初期設定:ON)

IP Address - 本機 IP アドレス入力欄(DHCP OFF 設定時の初期設定: 192.168.0.200)

Gateway - ゲートウェイアドレス入力欄(DHCP OFF 設定時の初期設定:192.168.0.1)

Subnet Mask - サブネットマスク入力欄(初期設定:255.255.255.0)

Device Information - 本機のデバイス名、MCU バージョン、ドメイン名の確認・設定を行うことができます。

Device - 本機のデバイス名

MCU version - 本機の MCU バージョン情報

※8 削除したユーザーは復元できないのでご注意ください。

※9 設定リセットの際は、本機の電源を切らないでください。故障の原因になる可能性があります。

Domain name - 本機のドメイン名(本機のIPアドレスがわからない時、ドメインネームでウェブ GUI へアクセスできます)^{※10}

Update - 本機ドメイン名の変更

Domain name - 本機のドメイン名入力欄(16文字までの半角英数記号、初期設定: MV41)

Device Status - 本機のシリアル(RS-232)、Telnet 通信制御情報の確認・設定を行うことができます。

Power - 本機の電源 ON/OFF 情報

Telnet Port - Telnet 通信ポート番号

TCP/IP port - TCP/IP 通信ポート番号

rs-232 Baudrate - シリアル(RS-232)通信ボーレート

Telnet - Telnet 通信の Enable(有効)/Disable(無効)情報

TCP/IP - TCP/IP 通信の Enable(有効)/Disable(無効)情報

Update - シリアル(RS-232)通信ボーレート設定、Telnet、TCP/IP 通信ポート、オン/オフ設定を行うことができます。

Baud Rate - シリアル(RS-232)通信ボーレート設定(初期設定:57600)

Telnet - Telnet 通信ポート番号入力欄(初期設定:23)、ON/OFF 設定(初期設定: ON)

TCP/IP - TCP/IP 通信ポート番号入力欄(初期設定:8000)、ON/OFF 設定(初期設定:ON)

Advanced Auto Switching - 表示レイアウト自動切り替えに関する設定を行うことができます。

Auto Switching Trigger - 表示レイアウト自動切り替えトリガー信号(初期設定: TMDS)

Auto Switching Fallback Input - 表示レイアウト自動切り替えフォールバック入力

Auto Switching Layout Mode - 表示レイアウト自動切り替えレイアウトモード

Dual Windows Layout Select - デュアルウィンドウレイアウト

Triple Windows Layout Select - トリプルウィンドウレイアウト

Quad Windows Layout Select - クアッドウィンドウレイアウト

Update - 自動切り替えトリガー信号、フォールバック信号、表示モード、デュアル・トリプル・クアッドウィンドウレイアウトの設定を行うことができます。

Auto Switching Trigger - 自動切り替えトリガー信号の設定(初期設定:TMDS)

TMDS - 入力ソースから映像信号が検出されたときに切り替えます。

HDMI 5V - 入力ソースから HDMI 5V の信号が検出されたときに切り替えます。

Auto Switching Fallback Input- 自動切り替えフォールバック入力の設定(初期設定:Select Next Input Port)

Select Next Input Port - 現在の入力ソースの次の入力ソースに切り替えます。

Input Port1/2/3/4 - 指定した入力ソース 1/2/3/4 に切り替えます。

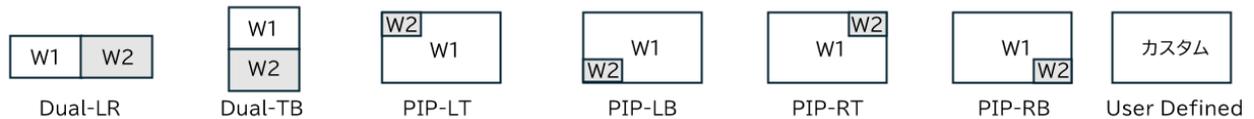
Auto Switching Layout Mode - 自動切り替えレイアウトモードの設定(初期設定: Single)

Single Source - シングル表示モード

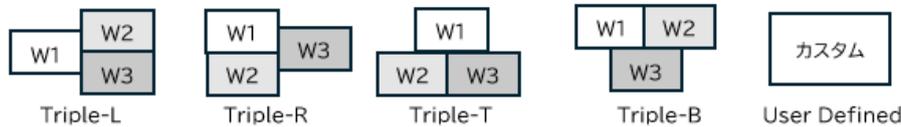
Multiview - マルチビュー表示モード

※10 マルチキャスト DNS(mDNS)はローカルネームサーバーのないネットワーク内でホスト名から IP アドレスを解決するプロトコルです。DHCP 機能有効に設定後、本機のIPアドレスがわからない時、ドメインネームでウェブ GUI へアクセスできます。初期設定:mv41.local。mDNS 機能の動作を保証するものではありません。ネットワークの設定状況によっては、動作しない場合があります。

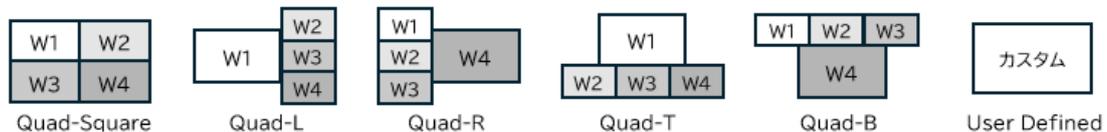
Dual Windows Layout Select - デュアルウィンドウレイアウトの設定(初期設定: Dual-LR)^{※11}



Triple Windows Layout Select - トリプルウィンドウレイアウトの設定(初期設定: Triple-L)^{※10}



Quad Windows Layout Select - クアッドウィンドウレイアウトの設定(初期設定: Quad-Square)^{※10}



Advanced System Setting - IR リモコン制御、本体ボタン制御、操作ビープ音オン/オフ、トリガーイベント信号の設定を行うことができます。

IR Control - IR リモコン制御 ON/OFF

Front Panel Buttons - 本体ボタン制御 ON/OFF

Beep Control - 操作音 ON/OFF

Input Trigger - トリガーイベント入力信号

Update - IR リモコン制御、本体ボタン制御、操作ビープ音オン/オフ、トリガーイベント信号の設定を行うことができます。

IR Control - IR リモコン制御の ON/OFF 設定(初期設定:ON)

Front Panel Buttons - 本体ボタン制御の ON/OFF 設定(初期設定:ON)

Beep Control - 操作ビープ音の ON/OFF 設定(初期設定:OFF)

Input Trigger - トリガーイベント信号種類の設定(初期設定:Low Level(0V))

Off - オフ

Low Level(0V) - ローレベル(0V)

High Level(5-12V) - ハイレベル(5~12V)

Rising Edge - 立ち上がりエッジ

Falling Edge - 立ち下がりエッジ

Trigger Event - トリガーイベント表示レイアウトの設定(初期設定:Preset1)

Preset1/2/3/4/5/6/7/8 - プリセット 1/2/3/4/5/6/7/8^{※12}

Windows1/2/3/4 Pop-up - ウィンドウ 1/2/3/4 ポップアップ

Trigger Windows Source - トリガーイベントポップアップ表示する入力ソースの設定(初期設定:Input1)

Input1/2/3/4 - 入力ソース 1/2/3/4

Trigger Disappear - トリガーイベント表示解消に関する設定(初期設定:Level/Edge Changed)

Level/Edge changed - レベル/エッジ変更時

※11 カスタム(User Defined)レイアウトの設定は Layout Configuration ページ(Save Layout As)で設定できます。設定方法は本書 P.17 [Layout Configuration ページ\(マルチビューレイアウトの設定\)](#)を参照してください。

※12 Preset ページで事前にプリセットを登録する必要があります。

Timeout - タイムアウト

Trigger Timeout(s) - トリガーイベント表示継続時間の設定(設定範囲:1 秒~600 秒、初期設定:10 秒)

Web Module Information - 本機のファームウェア更新(本機のファームウェアは本体全体の制御プログラム MCU(メインコントロールユニット)、PC で設定を行うためのプログラムウェブ GUI 2 種類があります)

ご注意

設定リセットおよびファームウェアの更新中に、本機の電源を切ったり、ウェブ GUI ページを閉じたりしないでください。故障の原因になったりする可能性があります。

Update Password ページ(ログインパスワードの更新)

Update Password ページで Admin(管理)アカウントのログインパスワード(半角英字と半角数字の組み合わせを含む 8 文字以上16文字以下)を変更できます。

シリアル(RS-232)/Telnet 通信制御

本機はトリガー入力信号以外に、シリアル(RS-232)または Telnet(TCP/IP 経由)通信経路でマクロの実行(マクロテスト実行コマンド)を行うことができます。

シリアル(RS-232)通信初期設定

本機のシリアル(RS-232)通信初期設定は下記の通りです。

ボーレート: 57600bps

パリティ: None

フロー制御: None

データビット: 8-bit

ストップビット: 1-bit

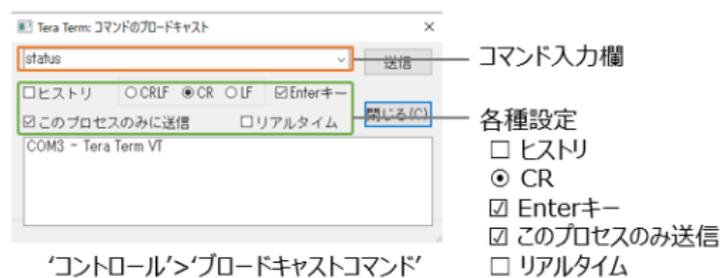
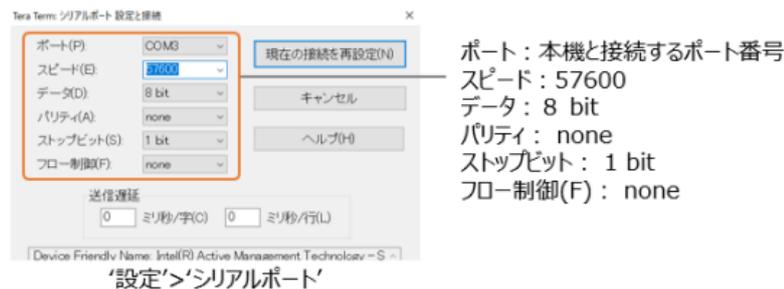
Telnet 通信初期設定

IP アドレス:192.168.0.200/24(DHCP オフ時)

通信ポート:23

Tera Term でコマンドテスト

ターミナルエミュレーター「Tera Term」を利用する場合は、以下のように設定をしてコマンド送信を行ってください。



シリアル(RS-232)通信/Telnet コマンド^{※13}

RS-232 コマンド	内容
HELP または ?	ヘルプを表示する
STATUS	システムとポートの状態を表示する
FWVER	本機のファームウェアバージョン情報を表示する
UPTIME	本機の電源オンしてからの作動時間を表示する
TEMP	本機の内部温度を表示する
PON	本機電源オン
POFF	本機電源オフ
REBOOT	本機を再起動させる
IR ON/OFF	IR 制御の ON/OFF を設定する(初期設定:ON)
IR 5V	IR 信号電圧を 5V に設定する
IR 12V	IR 信号電圧を 12V に設定する ^{※14}
KEY ON/OFF	本体ボタン制御の ON/OFF を設定する(初期設定:ON)
BEEP ON/OFF	操作ビープ音の ON/OFF を設定する(初期設定:ON)

※13 全てのシリアル(RS-232)、Telnet 通信対応機器との動作を保証するものではありません。動作しない場合があります。

※14 本機は 5V と 12V の IR 電源ラインに対応します。付属の IR リモコンは 5V IR 電源ラインを採用しています。ご利用になられる制御システムの IR 電圧ラインに対応した電圧に設定したうえでご利用ください。

LED xx yy	<p>本体前面のステータスランプ xx 状態時の点灯継続時間を設定する</p> <p>xx = PON: 電源オンの時 POFF: 電源オフの時</p> <p>yy = OFF: 常時消灯 15: 15 秒後自動消灯 30: 30 秒後自動消灯 60: 60 秒後自動消灯 ON: 常時点灯</p>
RSB x	<p>シリアル(RS-232)通信ボーレートを設定する(初期設定:57600)</p> <p>x = 1:2400、2:4800、3:9600、4:19200、5:38400、6:57600、7:115200 ※ご注意:本機との接続設定のボーレートも変更されます。</p>
RESET	<p>ネットワーク設定以外の設定を工場出荷時状態にリセットする ("Yes"でリセットを確定、"No"でキャンセル)</p>
RESET ALL	<p>ネットワーク設定を含むすべての設定を工場出荷時状態にリセットする ("Yes"でリセットを確定、"No"でキャンセル)</p>
EDID xx DF zz	<p>xx の入力 EDID を EDID プリセット zz として設定する</p> <p>xx = 00: すべての入力 01/02/03/04: 入力1/2/3/4</p> <p>zz = 00: HDMI 1080p@60Hz, Audio 2CH PCM(初期設定) 01: HDMI 1080p@60Hz, Audio 5.1CH DTS/DOLBY 02: HDMI 1080p@60Hz, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD 03: HDMI 1080i@60Hz, Audio 2CH PCM 04: HDMI 1080i@60Hz, Audio 5.1CH DTS/DOLBY 05: HDMI 1080i@60Hz, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD 06: HDMI 1080p@60Hz/3D, Audio 2CH PCM 07: HDMI 1080p@60Hz/3D, Audio 5.1CH DTS/DOLBY 08: HDMI 1080p@60Hz/3D, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD 09: HDMI 4K@30Hz 4:4:4/4K@60Hz 4:2:0, Audio 2CH PCM 10: HDMI 4K@30Hz 4:4:4/4K@60Hz 4:2:0, Audio 5.1CH DTS/DOLBY 11: HDMI 4K@30Hz 4:4:4/4K@60Hz 4:2:0, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD 12: HDMI 4K@60Hz 4:2:0, Audio 2CH PCM 13: HDMI 4K@60Hz 4:2:0, Audio 5.1CH DTS/DOLBY 14: HDMI 4K@60Hz 4:2:0, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD 15: HDMI 4K@60Hz 4:4:4, 8-bit, Audio 2CH PCM 16: HDMI 4K@60Hz 4:4:4, 8-bit, Audio 5.1CH DTS/DOLBY 17: HDMI 4K@60Hz 4:4:4, 8-bit, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD 18: HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 10-bit, Audio 2CH PCM 19: HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 10-bit, Audio 5.1CH DTS/DOLBY 20: HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 10-bit, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD 21: HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 12-bit, Audio 2CH PCM 22: HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 12-bit, Audio 5.1CH DTS/DOLBY 23: HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 12-bit, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD</p>

	24: HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 10-bit (Inc DV), Audio 2CH PCM
	25: HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 10-bit (Inc DV), Audio 5.1CH DTS/DOLBY
	26: HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 10-bit (Inc DV), Audio 7.1CH DTS/DOLBY
	27: HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 12-bit (Inc DV), Audio 2CH PCM
	28: HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 12-bit (Inc DV), Audio 5.1CH DTS/DOLBY
	29: HDMI 4K@60Hz 4:4:4, HDR 12-bit (Inc DV), Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD
	30: DVI 1280x1024@60Hz, Audio None
	31: DVI 1920x1080@60Hz, Audio None
	32: DVI 1920x1200@60Hz, Audio None
	33: HDMI 1920x1200@60Hz, Audio 2CH PCM/6CH PCM
	34: USER EDID 1
	35: USER EDID 2
	36: EDID Pass-through
EDID xx CP yy	LOOP OUT yyの EDID 情報を入力xxにコピーする yy = 00:すべてのLOOP OUT 01/02/03/04: LOOP OUT1/2/3/4 xx = 00:すべての入力 01/02/03/04: 入力1/2/3/4
OUT ON/OFF	マルチビュー出力の ON/OFF を設定する
SEAMLESS SWITCH ON/OFF	シームレススイッチング機能の ON/OFF を設定する(初期設定:ON)
OUT xx BRIGHTNESS yy	マルチビュー出力の輝度を設定する(初期設定:140) xx = 0~255
OUT xx SATURATION yy	マルチビュー出力の彩度を設定する(初期設定:128) xx = 0~255
OUT xx HUE yy	マルチビュー出力の色相を設定する(初期設定:128) xx = 0~255
OUT xx CONTRAST yy	マルチビュー出力のコントラストを設定する(初期設定:120) xx = 0~255
IN HDRCB xx	マルチビュー出力の HDR Color Boost を設定する(初期設定:2750) xx = 0~8191
IN HDRCR xx	マルチビュー出力の HDR Color Ratioを設定する(初期設定:3000) xx = 0~8191
OUT SCALING yy	マルチビュー出力のスケールリング解像度を設定する(初期設定:Auto) yy=01: Auto 02: 3840x2160p60Hz(2160p60) 03: 3840x2160p50Hz(2160p50) 04: 4096x2160p60Hz 05: 4096x2160p50Hz 06: 3840x2160p30Hz(2160p30) 07: 1920x1080p60Hz(1080p60) 08: 1920x1080p50Hz(1080p50) 09: 1920x1080i60Hz(1080i60)

	10: 1920x1080i50Hz(1080i50) 11: 1280x720p60Hz(720p60) 12: 1280x720p50Hz(720p50) 13: 1360x768p60Hz 14: 1280x800p60Hz 15: 1920x1200p60Hz(RB) 16: 1024x768p60Hz
LOOPOUT xx ON/OFF	LOOP OUT 出力の ON/OFF を設定する(初期設定:ON) xx = 00: すべての LOOP OUT 出力 01/02/03/04: LOOPOUT1/2/3/4
LOOPOUT xx SCALING yy	LOOP OUT 出力のスケーリング解像度を設定する xx = 00: すべての LOOP OUT 出力 01/02/03/04: LOOPOUT1/2/3/4 yy = 01: Bypass(バイパス、初期設定) 02: Force_1080P(1080p 強制) 03: Auto(接続するディスプレイの EDID を読み取り、解像度を設定する)
OUT FR yy	マルチビュー出力に入力yyを割り当てる ^{※15} yy = 01/02/03/04: 入力1/2/3/4
AUDIO FR yy	出力音声を設定する(初期設定:Window1) yy = 01/02/03/04: 入力1/2/3/4 の音声(Input1/2/3/4) 05: ウィンドウ 1 の音声(Window1) 06: ウィンドウ 2 の音声(Window2) 07: ウィンドウ 3 の音声(Window3) 08: ウィンドウ 4 の音声(Window4)
OUT xx SWITCH yy	表示レイアウト動作モードを設定する(初期設定:AUTO) xx = 01(マルチビュー出力) yy = AUTO: 自動切り替え MAN: 手動切り替え
AUTO TRG x	表示レイアウト自動切り替え(Auto Switching)のトリガー信号を設定する(初期設定:TMDS) yy = 01: HDMI 5V 02: HDMI TMDS
AUTO LAYOUT yy	自動切り替えレイアウト表示を設定する(初期設定:シングル表示) yy = 01: シングル表示(Single Source) 02: マルチビュー表示(Multiview)
AUTO FB yy	表示レイアウト自動切り替えフォールバック入力ソース信号を設定する(初期設定:Select Next Input Port) yy = 00: 現在の入力ソースの次の入力ソースに切り替える(Select Next Input Port) 01/02/03/04: 指定した入力ソース 1/2/3/4 に切り替える(Input Port 1/2/3/4)
LAYOUT DAUL DF yy	デュアルウィンドウレイアウトを設定する ^{※16} (初期設定:Dual-LR) yy = 02: Dual-LR(Left-By-Right) 03: Dual-TB (Top-By-Bottom) 04: PIP-UL (Upper-By-Left) 05: PIP-LL (Lower-By-Left) 06: PIP-UR (Upper-By-Right)

※15 シングル表示に切り替わります。

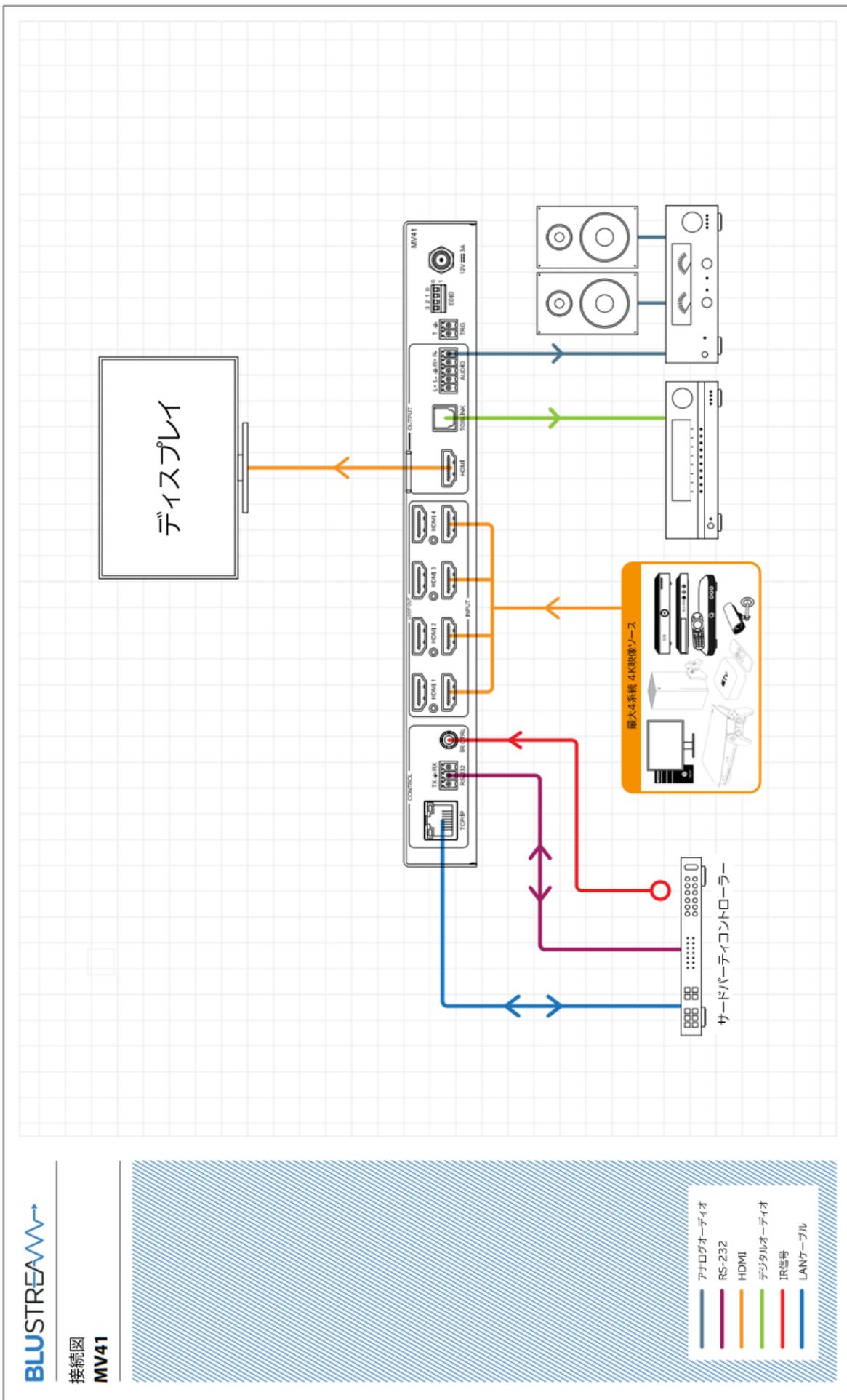
※16 各種レイアウト表示については本書 P.21 [Setting ページ\(各種設定\)](#) 内 Advanced Auto Switching を参照してください。

	07: PIP-LR (Lower-By-Right) 08: User Defined
LAYOUT TRIP DF yy	トリプルウィンドウレイアウトを設定する ^{※15} (初期設定: Trip-L) yy = 08: Triple-L (Left) 09: Triple-R (Right) 10: Triple-T (Top) 11: Triple-B (Bottom) 17: User Defined
LAYOUT QUAD DF yy	クアドウィンドウレイアウトを設定する ^{※15} (初期設定: Quad-S (Square)) yy = 12: Quad-S (Square) 13: Quad-L (Left) 14: Quad-R (Right) 15: Quad-T (Top) 16: Quad-B (Bottom) 17: User Defined
TRG yy	トリガーイベント入力信号を設定する(初期設定: Low Level (0V)) yy = 00: オフ 01: Low Level (0V) ローレベル 02: High Level (5-12V) ハイレベル 03: Rising Edge 立ち上がりエッジ 04: Falling Edge 立下がりエッジ
TRG EVEN yy	トリガーイベント表示レイアウトを設定する(初期設定: Window1 Pop-up) yy = 01~08: プリセット 1~8 ^{※17} (Preset1~8) 09: ウィンドウ 1 ポップアップ(Window1 Pop-up) 10: ウィンドウ 2 ポップアップ(Window2 Pop-up) 11: ウィンドウ 3 ポップアップ(Window3 Pop-up) 12: ウィンドウ 4 ポップアップ(Window4 Pop-up)
TRG WIN FR yy	トリガーイベントポップアップ表示する入力ソースを設定する(初期設定: Input1) yy = 01~04: 入力ソース 1~4(Input1~4)
TRG DIS yy	トリガーイベント表示解消に関する設定(初期設定: Level/Edge Changed) yy = 01: レベル/エッジ変更時(Level/Edge Changed) 02: タイムアウト ^{※18} (Timeout)
TRG TIMEOUT yy	トリガーイベント表示継続時間を設定する(初期設定: 10 秒) yy = 1~600: 1~600 秒
PRESET STATUS	プリセットの登録ステータスを表示する
PRESET pp SAVE	現在の設定をプリセットppに登録する pp = 01~08: プリセット 1~8
PRESET pp APPLY	プリセットppを呼び出す ^{※17} pp = 01~08: プリセット 1~8
PRESET pp DEL	プリセットppを削除する pp = 01~08: プリセット 1~8

※17 Preset ページで事前にプリセットを登録する必要があります。

※18 設定済トリガーイベント表示継続時間を過ぎた後、トリガーイベント表示が解消されます。

接続図



BLUSTREAM

接続図
MV41

FAQ よくある質問

故障かな?と思ったら、お問い合わせになる前に、まず、以下をご確認ください。
確認しても問題が解決しない場合は、お買い上げ店、またはお客様相談センターにお問い合わせください。

症状	確認	対策
電源が見つからない	AC アダプターはコンセント、または本体にしっかりと奥まで接続されていますか?	AC アダプターをコンセント、および本体にしっかりと奥まで接続してください。
	付属の AC アダプターを使用していますか?	付属の AC アダプターを使用してください。
映像が入力されない または、映像が出力されない	本機の対応していないフォーマットで映像を入力していませんか?	入力映像のフォーマットと本機の対応するフォーマットを確認してください。本機の EDID も確認してください。
	HDMI ケーブルは正しく接続されていますか?	HDMI ケーブルを差しなおしてください。
	ケーブルの長さや仕様は信号の規格に沿っていますか?	HDMI は規格により、各フォーマットでのケーブル長や仕様が定められています。仕様に沿ったケーブルかどうか確認してください。
RS-232 シリアル通信で、PC に応答がこない	Tera Term を使用している場合、ローカルエコーをオンにしていますか?	Tera Term ではローカルエコーをオフにしていると画面上に応答が表示されません。詳細は本書 P.24 シリアル(RS-232)通信初期設定 をご参照ください。
	コマンドはキャリッジリターンで送信していますか?	コマンド送信はキャリッジリターン、または「¥r」で改行してください
	ボーレートは正しく設定されていますか?	工場出荷時のボーレートは 57,600bps です。詳細は本書 P.24 シリアル(RS-232)通信初期設定 をご参照ください。また、コマンド「RS232BAUD z」にてボーレートを変更した場合、変更後のボーレートに合わせて接続設定を行ってください。
ウェブ GUI または RS-232 経由で EDID が変更できない	DIP スイッチは「1111」に設定されていますか?	DIP スイッチをソフトウェア EDID モード (1111) に設定してください。詳細は本書 P.11 EDID ディップスイッチ をご参照ください。

主な仕様

型番	MV41	
HDMI 規格	HDMI 2.0 準拠 ^{※19}	
HDCP	1.4/2.2	
HDR	対応(10/12bit HDR, Dolby Vision) ^{※20}	
最大対応解像度	4096x2160@60Hz 4:4:4	
EDID 保持機能	対応	
音声チャンネル	PCM 2ch、Dolby TrueHD、Dolby Atmos、Dolby Digital Plus、DTS-HD Master Audio	
入力端子	映像・音声	HDMI タイプ A x4
出力端子	映像	マルチビュー用 HDMI タイプ A x1 ループアウト HDMI タイプ A x4
	音声	アナログ音声用 5 ピンターミナルブロック x1 光デジタル音声用 Toslink(SPDI/F) x1
その他端子	RJ-45 x1(TCP/IP 通信用、100Mbps) 3 ピンターミナルブロック x1(シリアル RS-232 通信用) 3.5mm ステレオミニジャック x1(IR 受信ケーブル用) 2 ピンターミナルブロック x1(トリガー信号受信用) DC 電源入力 x1	
外形寸法(WxDxH)	265mm x 152mm x 30mm (突起物を除く)	
本体重量	約 1250g	
動作温度	0℃～40℃	
保存温度	-20℃～60℃	
動作/保存湿度	10% ～90%(結露なきこと)	
入力電源	DC 12V	
消費電力	最大 18W	
付属品	本体 x1 / 専用 AC アダプター x1 / 専用電源ケーブル x1 / 専用 IR リモコン / IR 受信ケーブル x1 / 5 ピンターミナルブロック x1 / 3 ピンターミナルブロック x1 / 2 ピンターミナルブロック x1 / 専用ラックマウントブラケット x2(ネジ付き)/ 注意事項・保証書 x1	
適合認証	FCC/CE/PSE(AC アダプターのみ)/RoHS	
保証期間	ご購入から 3 年間	

※19 CEC、ARC 非対応

※20 4K60Hz 4:4:4 のみ対応

※ HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

※ 記載されているソフトウェア名・製品名・サービス名などは各社の商標、または登録商標です。

※ 全ての機器との動作を保証するものではありません。

※ 外観、および各仕様につきましては予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

※ 画像は全てイメージです。

サポート専用お問合せ先

お問い合わせの前に…「FAQ よくある質問」をご参照ください。

<https://www.ad-techno.com/support/info/faq/processor/>

それでも解決しない場合:

製品のお問い合わせ : www.ad-techno.com/support/info/contact/

修理のご相談 : www.ad-techno.com/support/service/contact/

お問い合わせの際は以下内容をご確認ください。

- ・弊社製品の型番及びシリアル番号
- ・ご質問内容(症状など)

ご注意:

本製品のサポートは日本国内での対応となります。国外での使用に関して発生した不具合に関してはいかなる責任も負いかねます。

また日本国外からの問い合わせ、技術サポートは行っておりません。